

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①学力・学習状況調査等の結果分析や学年グランドデザインに基づきカリキュラムマネジメントに取組む。 ②各教科等で、児童の問題発見・解決能力を育成する授業づくりに取組む。 ③ICT活用や時程の工夫により、さらに質の高い柔軟な教育課程編成に取組む。
担当	教育課題研究評価

学力向上に関わる本校の状況
(1) 学力に関わる児童生徒の実態 基礎的な力(知識・理解)は、横浜市の平均を大きく上回っている一方で、活用したり、考察したりする力が他の項目に比べて低い。また、友達に自分の考えや思いを伝えることに自信がない児童が多い。 <国語> ・必要な事柄を選択したり、話の中心を捉えたりして聞く△ ・資料を活用して、書く力△ <算数> ・問題の題意を捉え、何に着目するのか考える△ ・数に対する感覚△ ・図形の性質と結び付けて考察する力△ ・数量関係をグラフや表から読み取る力△ <社会> ・資料を読み取る力△ (2) これまでの学校の取組状況 UCL(共同研究)での取組 ・生活科や総合的な学習の時間を中心に、教科横断的な視点を持ち、各学年で目指す資質・能力を明確にした授業づくりを行っている。 ・問題解決能力を中心にした、「人・もの・こと」と関わり合いながら、主体的に学び続ける子どもの育成を目指している。

今年度の目標
「人・もの・こと」と関わり合いながら、主体的に学び続ける子ども ～『たて(学年)のつながりを意識した問題発見・解決能力』を育むための授業づくり～

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	①たて(学年)のつながりを明確にした問題発見・解決能力のグルグルの作成 昨年度作成した各学年のグランドデザインの振り返りをもとに、6年間で身に付けたい問題発見・解決能力を明確化し、教科横断的な視点でカリキュラムマネジメントを日々行う。 ②各学年のグランドデザインの作成 昨年度作成した各学年のグランドデザインの振り返りをもとに、今年度身に付けたい力や育成を目指す上での授業づくりの視点を明確にする。 ③問題発見・解決能力の育成を目指した授業づくり 生活科や総合的な学習の時間を中心に、子ども達自身が課題を見付け、問題解決に向かうための力を育成できるような単元構想や授業づくりを行う。「人・もの・こと」との豊かな関わり合いをもとに、子ども達の思いや願いを達成できるようにしていく。 ④ICTの活用や時程の工夫 ICTの活用や午久保タイムの活用の工夫により、柔軟な教育課程の編成に取組むだけでなく、ICTツールの活用により自信をもって自分の思いや考えを伝えられるようにする。
下半期	①問題発見・解決能力のグルグルの振り返り、見直し 上半期を振り返り、各学年で身に付けたい力の育成を見直し、日々の授業づくりに生かし、授業改善を行う。また、今の学年だけでなく、次の学年を意識しながら授業づくりを行う。 ②学力・学習状況調査結果の考察 各学年で分析を行い、授業に生かす視点や授業改善の視点を話し合い、日々の授業づくりに生かしていく。 ③各学年のグランドデザインの振り返り 4月に作成した各学年のグランドデザインの振り返りを行い、次年度の授業改善の視点に生かしていく。 ④単元配列表や年間指導計画の見直し 教科横断的な視点での見直しを行い、各教科で身に付けた力を、他教科で生かせるようにしていく。